



皆さん

初めまして。

スティーヴン・ソダーバーグ

です。上映前に監督が話すのは少し変ですが、これは **変な映画**

なのです。しかし、映画史に残る作品です。金もうけのために

言うのではありません。監督と観客の間には繊細な **緊張関係** があります。この

芸術的

緊張関係はとても大事ですが、**もろい**。ですから必ず

お金

を払って見てください。



Written by
Directed by
and
Starring
me!!!





『トラフィック』で本年度アカデミー賞監督賞受賞 スティーヴン・ソダーバーグ監督
 幻の日本未公開作 2 作品 ついに公開!!



SCHIZOPOLIS



「この映画は金のために作ったものではありません。意味がわからなかったら何度でも観て下さい」スクリーンの前で監督自ら挨拶するが、客席には誰もいない。『スキゾポリス』のオープニングは当時のソダーバーグの境遇を見事に象徴している。

ソダーバーグは26歳のデビュー作『セックスと嘘とビデオテープ』(89)でいきなりカンヌ映画祭パルムドールをさらって騒がれたが、その後鳴かず飛ばず。95年、ハリウッドから完全に見捨てられた彼が、親友5人と資金を集めて作ったのが、この『スキゾポリス』だ。スタッフはその5人のみで、節約のために彼らは俳優も兼任した。ソダーバーグは自ら撮影と主演に挑戦。主役の妻と子供役は逃げたソダーバーグの女房と娘が演じた。このミニマムなプロダクションのおかげでエンディングのスタッフとキャストのクレジットはたった1コマに収まってしまう。

内容は「ルイス・ブニュエルとリチャード・レスターとモンティ・パイソンの影響を反映させた」と本人が言っているとおり、ブニュエルの「欲望のあいまいな対象」(77)の二人一役を思わせるソダーバーグ夫妻の一人二役の不倫劇を軸に、『自由の幻想』(74)の写真ギャグの引用、レスターがビートルズ映画で多用したコマ落とし、モンティ・パイソン風不条理コントなどが散りばめられる。また、セットのバラシや批評家の解説などの脱構築ギャグはゴダールの『ソダーバーグはオフィスに『カラビニエ』のポスターを貼っている。しかし「わけがわからない」と、アメリカ本国での公開は興行的に惨敗。空っぽの客席は現実となった。その年、アカデミー賞のパーティに行ったソダーバーグは「お前なんか知らん」と門前払いを食らった。

だが、製作規模も手法もまるで学生の実験映画のようなこの『スキゾポリス』でゼロから再出発したソダーバーグは、商業性と前衛性の両立を模索しながら、4年後には『トラフィック』でアカデミー監督賞を受賞してしまった。監督自ら撮影した『トラフィック』の手ブレ、ピンボケ、ジャンプカットだらけの映像の原点は、この『スキゾポリス』だったのである。ちなみに、その前年のオスカー受賞作『アメリカン・ビューティ』のケヴィン・スペイシーも、『スキゾポリス』のソダーバーグが原点か？

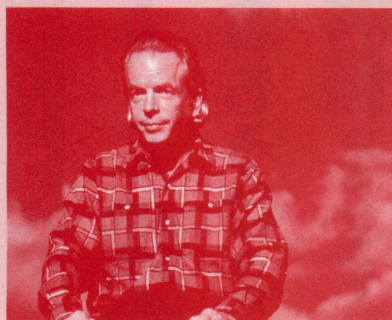
町山智浩(映画評論家)

1996年カンヌ国際映画祭 プレミア上映
 トロント国際映画祭 正式出品作品

怪しげな「自己救済団体」に勤める主人公と彼に瓜二つの歯科医を監督自身が怪演するサバリアン・コメディ。監督自ら「第2の処女作」と公言するほど愛着を持ち続け、続編「スキゾポリスの息子」も準備中という、彼のフィルモグラフィ上、最も重要な1本。

キャスト: スティーヴン・ソダーバーグ(フレッチャー・マンソン/歯科医コーチェク)、ベッツィ・ブランドリー(マンソンの妻/魅力的な女性第2号)、デビッド・ジェンセン(エルモ・オキシジャン)、マイク・マローン(T.アジマス・シュイターズ)、エディー・ジェミソン(名無し男)、スコット・アレン(右腕の男)、キャサリン・ラ・ナサ(ダイアン)
 スタッフ: 監督・脚本・撮影: スティーヴン・ソダーバーグ、製作: ジョン・ハーディ、製作総指揮: ジョン・リー、編集: サラ・フラック、キャストイング: デビッド・ジェンセン

1996年/アメリカ/カラー/93分(DV上映)/原題: SCHIZOPOLIS
 配給: ザジフィルムズ/協力: 日本コロムビア



GRAY'S ANATOMY

“WASPのウディ・アレン”と呼ばれ、独特の一人語り芸で“マスター・オブ・モノローグ”の名を欲しいままにする個性派俳優・スボルディング・グレイと組んだ、ソダーバーグもう一本の野心作。グレイが自らの臨床体験をカメラに向かって語り尽くす79分一本勝負の新型・癒し系ムービー。

監督: スティーヴン・ソダーバーグ、脚本・出演: スボルディング・グレイ、製作: ジョン・ハーディ、撮影: エリオット・デイヴィス、音楽: クリア・マルティネス
 1996年/イギリス=アメリカ/カラー/79分(DV上映)
 原題: GRAY'S ANATOMY
 配給: ザジフィルムズ/協力: 日本コロムビア
<http://www.zaziefilms.com>

10/20(土)~11/16(金) 実験的ロードショー!!

当日料金: 1,300円均一	10/20(土)~26(金)	10/31(水)~11/16(金)
スキゾポリス	連日 15:25/19:00	毎週(水)・(金)・(土) 21:00より
グレイズ・アナトミー	連日 17:20	毎週(木) 21:00より

※10/27(土)~30(火)は、『スキゾポリス』『グレイズ・アナトミー』の上映は、ございません。

ソニータワーB1
 心斎橋 シネマ・ドウ
 (06)6251-3789

<http://www.sonycinematic.co.jp/>